

☆ 自己評価シート1～13までの到達度として、当てはまるものに○をつけて下さい。

学習課題：プロイセンとオーストリア	できた	できない
1 導入の説明の際、教科書・資料集と広げて確認しながら、話を聞くことができた。		
2 ワークシートNo.4のQ1について自分で調べて書くことができた。		
3 ワークシートNo.4のQ1に書いた事柄を自分の意見として、班員に対して <u>会話</u> の中で伝えることができた。		
4 ワークシートNo.4のQ1、Q2について、班員の意見をきちんと聞くことができた。		
5 ワークシートNo.4のQ1、Q2について、班の意見をまとめる際に、班員の意見がヒントになって、新しい意見や疑問が自分の中で生まれた。		
6 ワークシートNo.4のQ1、Q2について、班の意見をまとめる際に、教科書や資料集などを使って、意見や疑問点を調べ、確認しようとした。		
7 ワークシートNo.4のQ1、Q2について、班の意見をまとめる際に、他の班員と話し合いをして意見をまとめるよう努力した。		
8 ワークシートNo.4のQ1、Q2について、班の意見をまとめる際に、他の班員の疑問解決や理解が深まるような手伝いをすることができた。		
9 班員全てと会話を交わすことができた。		
10 ワークシートNo.4の記入欄をきちんと埋めて、提出することができた。		
11 中学・高校とこれまで学習した事柄を思い出して、本時の学習に当てはめて考えることができた。		
12 本時の学習を通じて、現実の社会との関連性やつながりを感じる事ができた。		
13 本時の学習の目標を理解することができた。		

感想

☆世界史で資料を読むために…

資料を切り取る視点が変わると、
見えてくる姿が違ってきます。



point

①事実を読み取ろう。

「意見」と「事実」を区別しよう。

②前と後での変化はないか。

そのことが起こる以前と以後の違い、地域や国による違いはないか考えてみよう。

③プラスとマイナスの要素を見る。

プラス、マイナスのそれぞれの視点に立って考える。

④似た出来事がなかったかを考える。

歴史上の事件、聞いたことのある話で似たところを考えよう。

⑤いつも同じ視点から考える。あるいは、わざと視点を変える。

例：民衆の立場、指導者の立場と角度を変えて考える。

常に経済的な面から見るようにするなど。

⑥気付いたことは必ず文字化しよう。

気付いたこともメモをとらなければ、忘れてしまいます。書き込むクセを作ろう。文字から何か浮かぶこともあるよ。

⑦思いこみに注意しよう。

例：グラフの場合、大きな変化があった点に注目する機会が多い。そしてその理由を考えた時、最初に浮かんだ理由

にこだわりすぎて、事実が見えなくなる場合がある。あ

えて、最初に気付いたことを除外して、他の理由を考えてみることも必要です。

※他にも視点の切り口がいっぱいあります。

思ったこと、考えたことをクラスメイト同士話し合ってください。